

(事業計画書様式1)

1 概要

公園名	海の公園
所在地	横浜市金沢区海の公園 10
公園面積、公園種別	470,155 m ² 、総合公園
主な施設	人工砂浜・親水護岸、なぎさ広場、ビーチバレー・ビーチスポーツ場、健康歩道、犬の遊び場、バーベキュー場、管理棟、休憩所、案内所、ウインドサーフィン艇庫、駐車場など
特徴	<p>横浜市内で唯一海水浴ができる砂浜（人工海浜）を有する公園です。砂浜の延長は約1kmあり、毎年夏には多くの海水浴客が訪れるほか、アサリ等の多くの貝類が生息しているため、春先には潮干狩り等で賑わっています。また、マリンスポーツの場としても人気を集めており、園内にはウインドサーフィン、ボートセーリング等の艇庫があり、砂浜にはビーチバレー場、ビーチスポーツ場が設置されています。そのほか、なぎさ広場の芝生のグラウンドやバスケットコート、園路のジョギングコース等様々なスポーツ施設を有しています。</p> <p>公園開設当時に植樹された樹木が豊かに成長し、青い海に鮮やかに映える豊かな緑を形成し、多種の鳥や昆虫の生息場所にもなっています。樹林地は、散策や休憩に最適な緑陰を提供し、市民の憩いの場となっています。</p>
公園開園日	1988年（昭和63年）7月2日

2 指定管理者概要

指定管理者名	公益財団法人横浜市緑の協会
代表者名	理事長 福山 一男
所在地	横浜市中区日本大通 58
指定管理期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日まで（5年間）
現指定管理者管理運営開始日	平成27年4月1日
他に指定管理者に指定されている公園（市内外問わず）	山手公園・元町公園・山手イタリア山庭園・港に見える丘公園の2公園施設（JV）、三ツ沢公園（JV）、岸根公園、馬場花木園、横浜市こども植物園、横浜市児童遊園地、俣野公園（JV）、俣野別邸庭園、長浜公園（JV）、富岡総合公園（JV）、野島公園、横浜動物の森公園、野毛山公園、金沢自然公園

(事業計画書様式2)

1 公園運営の全体的な考え方

海の公園の特性を活かし、当団体が掲げるビジョン（管理期間中の目標）の達成に向けた着実な管理運営に取り組みます。

(公園の特性)

海の公園は次の4つの特性があります。

- ① 市内で唯一の海水浴場があり、砂浜やグラウンド、ジョギングコース等、多様な運動環境をもつ総合公園
- ② 海辺や緑地など豊かな自然や、そこで育まれる様々な生き物に接することのできる公園
- ③ ビーチクリーンなどのボランティア活動や、地域と連携したイベントが盛んな公園
- ④ 海辺の事故や、地震発生時の津波への対策が必要とされる公園

(ビジョン)

「海で遊び、海から学び、海とふれあう」

豊かな自然と地域の人々をつなぎ、次の世代へつなげる公園を目指します。

2 本年度の基本的な管理運営方針

指定管理者に求められる基本的役割を果たし、かつ上記ビジョン実現のため、公園の特性を踏まえた4つのミッション（果たすべき役割）に取り組みます。

(ミッション)

- ミッション1 誰もが海に親しみ楽しめるレクリエーションの場を提供します。
- ミッション2 海や緑を身近に感じる環境教育と環境保全を推進します。
- ミッション3 世代を越えて、人と人とを結ぶ場をつくります。
- ミッション4 いつでも安全・安心な海の公園を提供します。

3 運営業務の実施方針

私たちが掲げる上記のミッションについて、実施方針を次のとおりとします。

(ミッション)

「誰もが海に親しみ楽しめるレクリエーションの場の提供」

- ・潮干狩りや海水浴等のレクリエーションを快適に楽しむためのサービスの提供
- ・海辺や広場を活用したスポーツ振興
- ・「海とのふれあいセンター」を環境・憩い・観光のスペースとして活用

「海や緑を身近に感じる環境教育と環境保全の推進」

- ・海の環境を学べる各種講座の実施
- ・ビーチクリーンの支援等、海辺の環境を保全する取組
- ・ガーデンネックレス横浜 in 海の公園 ～海の公園花咲くプロジェクト～

「世代を越えて、人と人とを結ぶ場づくり」

- ・公園の資源を活用した様々な市民連携イベントの実施
- ・企業・団体等多様な主体・世代との協働
- ・ボランティア活動の支援強化

「いつでも安全・安心な海の公園の提供」

- ・海辺の安全・安心の徹底
- ・消防等の関係機関や市民とともに実施する津波避難訓練等の災害対策
- ・海の公園特有の利用に関するマナー向上
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を徹底します。

4 人員・組織体制

(1) 組織体制

- ・園長統括のもと、業務経験豊富なスタッフと地元企業との連携により、質の高い管理運営ができる体制を構築します。
- ・本部は、効率的な公園の管理運営のための業務支援、専門・技術的指導を行います。
- ・24 時間 365 日、迅速かつ臨機応変な対応を実現できる体制を構築するとともに、災害発生や事件・事故、施設故障等に備えた緊急体制を整備します。

(2) 人員配置

- ・人員は、園長（施設長）、副園長（副施設長）のほか、運営スタッフ4名、施設管理スタッフ2名です。
- ・園長は公園管理の統括を行い、副園長は園長補佐および園長不在時の統括代行を行い、現場を適切にマネジメントします。
- ・園長は防災士、副園長は上級救命講習、スタッフは普通救命講習を修了します。

(3) 人材育成

- ・「公園管理のプロを育てる」を到達目標に、人材育成に取り組みます。
- ・研修は職員向けに利用者対応・管理運営に関する研修や施設管理に関する研修を実施するほか、園長・副園長向けにマネジメントに関する研修を実施します。
- ・目標管理制度、職員表彰制度により、スタッフの意欲向上を図ります。

令和3年度人員配置表

職名	雇用	人数	職務内容	勤務日
園長（施設長）	職員（常）	1名	公園管理統括、事業・予算管理	週5
副園長（副施設長）	職員（常）	1名	統括補佐、運營業務等	週5
運営管理スタッフ	職員（常）	1名	運営管理業務	週5
	パート（常）	3名	（運営事務、自主事業、広報等）	週4
施設管理スタッフ	職員（常）	1名	施設管理業務	週5
	パート（非）	1名	（園地管理、建物管理等）	週3

※（常）は常勤、（非）は非常勤

勤務体制等

- ・3～5名の勤務体制を基本とし、繁閑に応じて柔軟に対応します。
- ・常勤とは、職員の1週間の所定労働時間（週38.75時間）の3/4（週30時間）以上とします。

5 市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進

快適な利用環境の提供、スポーツ振興への貢献、環境学習の機会の充実を通じ、利用者の記憶に残る海体験を提供します。

(1) 自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ

ア 誰もが海に親しみ楽しめるレクリエーションの場の提供（ミッション1）

- ・水陸両用車いすの貸出しや干潮時刻表の配布等、潮干狩りや海水浴を快適に楽しんでもらうためのサービスを提供します。
- ・ビーチスポーツフェスタ、ロードレース大会等のスポーツイベントを実施します。
- ・海とのふれあいセンターの休憩スペースを充実し、キッズスペース等を新設します。

イ 海や緑を身近に感じる環境教育と環境保全の推進（ミッション2）

- ・海の環境を学ぶよう、海の環境を考える親子講座等、各種講座を実施します。
- ・アマモ場再生活動やアサリの生息調査等、海の環境を保全する取組を実施します。
- ・市民協働による花壇づくり等を実施し、園内を季節に合わせた花の演出で彩ります。

ウ 世代を越えた、人と人とを結ぶ場づくり（ミッション3）

- ・園内の特徴ある空間を活用し、市民参加による金沢文庫芸術祭や、地域交流やリサイクルにつながるフリーマーケット等の市民連携イベントを実施します。
- ・金沢区のどんど焼きや、横浜シーサイドラインと連携した潮干狩りワークショップ等、多様な主体・世代との協働の取組を実施します。
- ・ビーチクリーン活動の受け入れを進めるとともに、「海の公園ボランティア・デイ」を定期開催し、園内でのボランティア活動を促進します。

エ いつでも安全・安心な海の公園の提供

- ・海辺の安全・安心を守るため。ライフセイバーの常駐等による海水浴期間中の安全・安心を徹底する取組や、夏の夜間特別巡視、定期的な水質検査等を行います。
- ・利用者参加型の津波避難訓練を実施し、防災士の資格を持つスタッフも配置します。

(2) 市民サービス向上取組の考え方

- ・(1)の各ミッションの取組の他、横浜市公園条例、環境創造局「公園に関するよくある質問」に基づき、看板や放送等により快適に過ごせる園内環境づくりに取り組みます。
- ・潮干狩り等、海の公園特有の利用に対するマナー向上にご協力いただくため、潮干狩りのルール遵守の呼びかけや、犬の飼い主へのマナー啓発等を行います。
- ・利用者満足度調査（アンケート）を実施し業務改善に努め、利用者の信頼・満足度の向上、公園管理の質の向上につなげていきます。

(3) 利用促進の取組利用者支援等の取組について

本様式5を基に、提案事項を実施します。

(4) 課題に対する公園運営改善策

【課題1】管理センターのレストハウス・環境学習・市民活動支援の機能を充実します。

【課題2】区役所・金沢臨海工業団地のNPO法人AozoraFactoryと連携し海の魅力を発信する取組を進めるなど、来園者の満足度を高めるため、周辺施設と連携し、魅力をPRします。

【課題3】異臭を抑制し美観を回復するため、漂着したアオサの迅速な回収に努めるとともに、市と連携しアオサの再利用等の調査・検討を進めます。

【課題4】発災時の津波避難を的確に行えるよう、利用者参加型の津波避難訓練等に取り組みます。

【課題5】日本ライフセービング協会の認定海水浴場として、海水浴での水難死亡事故ゼロを継続するための海水浴場運営に努めます。

【課題6】アサリ巡視や看板設置等により、潮干狩りのルール遵守を働きかけます。

【課題7】大型テントの設置や経口補水液の常備等による熱中症対策を実施します。

【課題8】大規模イベントに合わせた活用等により貸会議室の利用促進を図ります。

(5) 広報・パブリシティ活用の取組

・スマートフォンからのアクセスに対応したホームページ、SNSの運用により情報発信力を強化します。

・広報、情報発信は、ホームページ・SNS、独自発行の広報誌、「広報よこはま」、パブリシティ活用、近隣地域・施設との相互PR等の手段により行います。

(6) 利用者ニーズ把握の取組

・ホームページの広聴システム、「あんなこんな提案箱」等によりニーズを把握します。

・利用者の満足度の把握は、年1回のアンケートにより把握し、満足度向上に取り組みます。また、アンケート結果は公表します。

(事業計画書様式3)

1 公園の維持管理業務の全体的な考え方

海の公園特有の自然条件や利用特性を踏まえた維持管理により、利用者への安全・快適な利用環境を提供します。

《重点事項》

【海辺ゾーン】砂浜や海底の危険物の除去や、水際に漂着するアオサの処分に努めるなど、安全・快適な利用環境を提供します。また、アサリの生息調査等海辺の環境保全の取組も進めます。

【園路・広場ゾーン】クロマツの適切な剪定や病害虫対策により「白砂青松」を保全するとともに、園路の清掃や補修、イベントに合わせた草刈等、美観の維持と安全性の確保に努めます。

【スポーツ施設ゾーン】利用者の多いなぎさ広場において、グラウンドの芝を常に良好な状態を保つよう丁寧な管理を行い、快適な利用環境を提供します。

2 公園施設の維持管理について

【管理センター、なぎさ管理棟、柴口・南口休憩所】

・日常点検・定期点検のほかに、年1回、施設管理者点検マニュアルに沿って点検を行い、不具合は速やかに対応します。

・日常清掃・定期清掃に加え、必要に応じ特別清掃を実施します。

【なぎさ広場グラウンド】

・夏季・冬季に養生期間を設け、必要に応じ補植や施肥、芝刈を行い、芝生を良好な状態に保ちます。

【遊具】

・市基準に基づく日常点検・定期点検に加え、独自に月1回の定期点検を実施します。

【水飲み場、足洗い場】

・巡視・点検時に、本体や蛇口の破損やガラス・金属片等の危険物の除去を行います。

・砂が堆積しやすい枡は定期的に砂を除去します。

【手すり、鉄柵、支柱】

- ・年4回、触診や打診による定期点検を実施します。

3 園地管理について

(1) 巡視・点検

- ・年末年始を除き、水準書の「臨時巡視」ルートも含め毎日実施し、あわせてごみ拾い等の簡易清掃を実施します。
- ・定期点検は、市公園施設点検マニュアルに基づき年3回の通常点検、年1回の詳細点検を実施します。また、独自に作成したチェックシートを基に、月1回の点検を実施します。
- ・警報発表時や他の類似施設における事故が報告された際は臨時点検を実施し、結果を速やかに市へ報告します。

(2) 植栽の維持管理

- ・松は樹形や枝ぶりに配慮し整姿剪定を行い、特に松林の広がりや松越しの景観を楽しめるよう視線を遮る下枝や込み入った枝の除去を優先的に実施し、白砂青松を保全します。
- ・病害虫によるマツ枯れ、ナラ枯れ対策を適切に施します。
- ・夏の涼や季節の彩りを演出する耐潮性・耐寒性がある草花（ハマナス・スイセンなど）を植栽し、園内の新たな見どころを創出します。
- ・草地広場は区民まつり等の多くのイベントに利用されるため、快適に利用できるよう、イベント前を中心に草刈を実施します。
- ・海中のアマモ場は、海水浴場の安全な運営との両立を図るため、海水浴場開設前にアマモの一部刈込みを実施します。

4 事故防止の取組、過去に発生した事故の改善策

(1) 過去に発生した事故の改善策

- ・園地の特徴や危険箇所の情報を記載した独自の「公園ハザードマップ」と、これに基づく「巡視ルート図」を活用し、細やかな巡視・点検を徹底します。また、過去の点検結果や修繕履歴を参照し、事故の防止に努めます。
- ・スタッフの車両事故を防ぐため、「車両事故防止マニュアル」を周知徹底します。

(2) 作業時の安全確保

- ・利用者に対しては、作業時に発生する騒音や粉塵等により危険や不快感が及ばないよう最大限の注意を払います。
- ・複数名による作業を基本とし、カラーコーン・作業案内等の設置により、作業エリアを明確化し作業員以外の立入を防止します。
- ・園路の草刈作業は、飛散防止シートなどを用いて、石等が飛散しないよう養生します。

(3) 作業員の安全確保

- ・維持管理作業を行う際は、独自の「安全衛生マニュアル」に基づく作業環境の整備と指導の徹底により、作業員の安全確保に努め、労働災害や公衆災害を防止します。
- ・安全帯・ヘルメット、チェンソー利用時の保護衣などの安全装備を徹底します。
- ・作業員には、機器の取り扱いに必要な特別教育、安全衛生教育を実施します。
- ・塩分、水分補給や休憩等、熱中症対策を指導します。

5 清掃、修繕、施設設備改修

(1) 清掃

- ・海辺は、日常巡視時に危険物を撤去します。漂着したアオサはその都度迅速に回収・処分を実施します。漂着物が堆積しやすいタイドプールは景観に配慮し定期的に清掃します。
- ・ベンチ・テーブル、手すり等の工作物は汚れに特に注意し清掃します。
- ・トイレは毎日1回を基本とし、利用者の多い日は回数を増やし清掃を実施します。

(2) 修繕

- ・設備や遊具等は、定期点検や精密点検を活用し、施設の健全度・劣化状況を把握します。把握した内容に基づいて優先度を評価し、予防的修繕を実施することで長寿命化を図ります。
- ・ベンチや園路等は、日常巡視・点検等により異常を把握し、利用者の安全確保を最優先に、異常箇所の修繕を随時実施します。老朽化施設は市と協議し、更新を行います。

(事業計画書様式4)

1 緊急時の対応、緊急時マニュアルの活用、各区防災計画との連動等

- ・園長及び本部管理職は携帯電話を常に所持し、緊急連絡網による体制を確保します。
- ・災害に備え、横浜市防災計画等に基づく「災害対応マニュアル」を整備し、災害の状況に応じた配備体制を構築します。
- ・災害以外にも、事件・事故、重大な施設故障等に備え、市、警察、消防のほか、緊急対応事業者の連絡網を整備し、迅速に対応します。

2 災害対応について

- ・海の公園は災害時、防災ヘリコプターの飛行場外離着陸場としての役割を果たします。消防や警察との連絡体制を整備し、災害時にスムーズな連携を図ります。
- ・今年度は、スタッフの啓発として、情報受伝達、非常時参集、防災訓練といった各種訓練を実施するほか、情報収集・伝達手段の確保のため、災害時優先電話の配備、業務用携帯電話への市防災メールの登録、緊急地震速報自動放送システムの整備を行います。
- ・金沢区役所等と連携し利用者参加型の津波避難訓練を実施します。
- ・園長が防災士を取得するとともにスタッフ研修を実施し危機管理意識を徹底します。

(配備機材一覧) 職員用食料(3日分)、職員用携帯トイレ、ヘルメット、カラーコーン、バー、医療品・救急キット、防災ラジオ、土嚢、拡声器、懐中電灯、発電機、自転車、担架、津波避難旗(津波フラッグ)

- ・新型コロナウイルスの感染症拡大防止にあたってはガイドラインに基づいた取組を徹底するほか、潮干狩りや海水浴場が休止となる場合には、関係者連携のもと必要な措置・対応をしっかりと講じます。

3 犯罪や路上駐車等の不法行為対策について

- ・不法行為発生場所の重点的な巡視を行い、樹木は暗がりに配慮し剪定します。
- ・園内の緊急通報ボタンによる時間外の通報体制を整えます。
- ・特に夏季における夜間の不法行為や事故の防止のため、警備員による夜間特別巡視を実施します。

・潮干狩りシーズンは、金沢警察、八景島等と連携し渋滞対策をとるとともに、警備員を要所に配置し、混雑緩和を図ります。

4 個人情報保護について

・個人情報の保護に関する法律、横浜市個人情報の保護に関する条例に準じ、個人情報保護方針、個人情報保護規程を整備しています。収集した個人情報は、これらに沿って、適切に管理し、マイナンバーは、特定個人情報取扱規程に則り、適切に管理します。

・全スタッフには、必ず年1回の個人情報保護研修を実施し、実績を市に報告します。なお、業務を委託する場合は、同水準の管理を徹底します。

5 障害者差別解消について

・市の「障害者差別解消の推進に関する取組指針」を実践できるよう、人権啓発研修のテーマにし障害者差別解消を取り入れます。また、広報研修ではカラーバリアフリー、ウェブアクセシビリティの対応方法について教育します。

・窓口サービス向上のため、筆談ボードの配備や、車いすの貸出し、補助犬の受入れ等を行います。

・海で遊ぶためのサービス向上のため、水陸両用車いすや車いす用潮干狩り熊手の貸出しを行います。

6 運営目標

目標設定の視点	運営目標	目指す管理指数・数値	今後の取組(展望)
業務運営1 (達成目標、 運營業務の 実施方針)	<p>【ビジョン】海で遊び、海から学び、海とふれあう</p> <p>【ミッション】</p> <p>①誰もが海に親しみ楽しめるレクリエーションの場の提供</p> <p>②海や緑を身近に感じる環境教育と環境保全の推進</p> <p>③世代を越えた人と人とを結ぶ場づくり</p> <p>④いつでも安全・安心な海の公園の提供</p>	<p>市のアンケート調査必須項目「7.公園の満足度 総合満足度」の「満足」の割合6割以上</p> <p>【ミッション】</p> <p>①海で楽しく遊べる取組、年18事業</p> <p>②環境教育、環境保全の取組年9事業</p> <p>③ボランティア活動 年70回以上</p> <p>④安全・安心な場の提供のための取組 年9事業</p>	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施する
業務運営2 (利用者サービスの向上、 利用者満足度や利用者数の増、 利用しやすさ向)	<p>①潮干狩り等のレクリエーションを快適に楽しむためのサービスの提供</p> <p>②海や緑を学ぶ各種講座の実施</p> <p>③公園の資源を活用した市民連携イベントの実施</p>	<p>①潮干狩りでの各種サービスの実施(9種潮干狩り期間中)</p> <p>②海の公園ワークショップ等の実施(3種11回)</p> <p>③金沢文庫芸術祭(1回)・フリーマーケット(24回)の実施</p> <p>④海水浴の安全対策の実施(7</p>	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施する

上)	④海辺の安全・安心の徹底	種海水浴期間中)	
業務運営3 (人員配置、 緊急時対応 計画、防犯 防災、災害 対応)	①施設長(園長)、副施設長(副園 長)他6名を配置 ②園長は防災士取得、全スタッフ は上級又は普通救命講習を修了 ③災害対応マニュアル・緊急連絡 網の配備 ④情報受伝達、非常時参集、防災 訓練の実施 ⑤災害時優先電話、資機材の配備	①提案人員の配置 ②資格取得、講習修了者の配 置 ③配備完了 ④各1回 ⑤配備継続	運営目標の達 成に向け、引 き続き提案事 項を実施する
人材育成 研修実施効 果等	①利用者対応・管理運営に関する 研修の実施 ②施設管理に関する研修の実施 ③園長・副園長のマネジメント力 向上のための研修(管理職研修)の 実施	①接遇、人権啓発、個人情報 保護等の研修(6種各1回) ②公園施設点検、遊具点検等 の研修(3種各1回) ③パークマネジメント、管理 職実務等の研修(4種各1回)	運営目標の達 成に向け、引 き続き提案事 項を実施する
維持管理1 (施設の保守 管理、補修 計画)	施設の特性に応じた維持管理によ り、利用者に最適な環境を提供 ①管理センター、なぎさ管理棟、 柴口・南口休憩所 ②なぎさ広場グラウンド ③遊具 ④水飲み場、足洗い場 ⑤手すり、鉄柵、支柱	・本様式3-2に記載した提案事 項の頻度 ・維持管理基本水準書の遵守	運営目標の達 成に向け、引 き続き提案事 項を実施する
維持管理2 (清掃、園地 維持管理、 災害対応)	本様式3-3~5の各項目に記載し た施策を実施 ・園地管理(巡視・点検、植栽の 維持管理) ・過去に発生した事故の改善策、作 業時の安全確保、作業者の安全確保 ・清掃、修繕	・本様式3-3~5各項目に記載 した施策の実施(回数が明記し てあるものはその回数) ・維持管理基本水準書の遵守	運営目標の達 成に向け、引 き続き提案事 項を実施する
収支 (修繕等、収 入、支出)	・提案時の収支計画に基づき、予 算執行を実施	・提案時の収支目標	運営目標の達 成に向け、引 き続き提案事 項を実施する
経費節減策	①高圧受電を横浜市グリーン電力 調達実施要綱に基づき事業者を選 定。低圧受電をクリーンエネル ギーを供給している事業者を選定 し、経費節減を実施	①光熱水費の節減 ②消耗品費等の経費節減の推進	運営目標の達 成に向け、引 き続き提案事 項を実施する

	②園地管理用資材、消耗品等の一括発注		
--	--------------------	--	--

※利用料金設定の考え方
貸会議室の利用料金は、受益者負担の観点と市民が利用しやすい料金を考慮し、現行料金を継続します。
貸会議室：半日（3時間）につき、1,300円

(事業計画書様式5)

提案事業実施計画一覧（自主事業含む）

No	事業名	実施内容	新規	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
					1	2	3	4
1	潮干狩りでのサービス	<ul style="list-style-type: none"> 水陸両用車いすの貸出 潮干狩りグッズ販売 警備員による「アサリ巡視」 干潮時刻表の情報提供 仮設トイレ設置 貝毒検査・渋滞対策 救護所への看護師の配置（土日のみ） 鯉のぼりを目印とした迷子案内所の設置 		随時	●			●
2	潮干狩りワークショップ	横浜シーサイドラインとの共催により、潮干狩りのルールやノウハウを学ぶワークショップを開催		1	●			
3	海水浴でのサービス	<ul style="list-style-type: none"> 休憩テント、無料シャワーの設置 迷子案内所の設置 更衣室の設置 海水浴グッズ販売 水陸両用車いすの貸出 		随時		●		
4	ウインドサーフィン艇庫内の暖かスペースの設置	オイルヒーターやカーテンで暖かなスペースを設置		随時			●	●
5	キッチンカーの出店	混雑日にキッチンカーを出店し、軽飲食を販売		随時	●	●		
6	季節の催事	金沢文庫芸術祭(秋)やどんど焼き(冬)、金沢まつり花火大会等季節の催事を開催		通年	●	●	●	●
7	ビーチスポーツフェスタ	ビーチバレー、ビーチハンド、ビーチテニス、ビーチサッカーの競技会を横浜市		1		●		

		スポーツ協会と連携して開催						
8	なぎさ広場カップサッカー大会	なぎさ広場で市内少年サッカーチームと日本在住外国人少年サッカーチームの交流大会を大会実行委員会と共催	2				●	●
9	横浜FCサッカー教室	なぎさ広場グラウンドの活用とサッカー人口の増加を目的として、横浜FCと共催でジュニアサッカー学校を開催	40程度	●	●	●	●	
10	金沢区ロードレース大会	50回目を迎えるレースを安全円滑に実施できるよう、大会実行委員として各団体と協力開催	1					●
11	ターゲットバードゴルフ大会	横浜ターゲットバードゴルフ協会と連携して、シニア向け大会を開催	3				●	●
12	ビーチバレー大会	ビーチバレーの普及に貢献するため、横浜ビーチバレー連盟と協力開催	10以上	●	●	●	●	
13	海とのふれあいセンター休憩スペースの充実	キッズスペースなど家族みんなで楽しめるくつろぎ空間を演出	通年	●	●	●	●	
14	海とのふれあいセンター観光情報スペース設置	海の公園の情報に加え、近隣施設を紹介	通年	●	●	●	●	
15	海とのふれあいセンターマリンスポーツの紹介	東京オリンピック、パラリンピック開催を契機に、マリンスポーツを紹介	通年	●	●	●	●	
16	海とのふれあいセンター学習の場の提供	図書コーナーの設置や海の公園に生息する生き物を紹介	通年	●	●	●	●	
17	海とのふれあいセンター子育て支援	授乳やおむつ替えのスペースを設置し、ミルクを作るお湯を提供	通年	●	●	●	●	
18	海とのふれあいセンターまつりの開催	海の公園のPRと海への関心を高めてもらう体験イベントを実施	1		●			
19	海の公園ワークショップ	マツボックリや貝殻等の公園資源を活用した子供向けワークショップを開催	3	●				
20	海の食育講座	親子を対象に、海の恵みと地域の食文化を学ぶ講座を実施（海の環境を考える親子講座の中で実施）	1					●
21	海の環境を考える親子講座	海の環境を親子で学べる講座を毎回異なるテーマで実施	7	●	●	●	●	
22	ビーチクリーン活動の支援	ボランティア活動や企業CSR活動による砂浜清掃の際に用具類の貸出し等支援	随時	●	●	●	●	

23	アマモ場再生活動の実施	アマモ場の保全活動の一環として、企業や市民によるアマモ花枝採取を実施		2	●			
24	アサリの生息調査	アサリの状況・分布等を把握する定点観測調査を実施		12	●	●	●	●
25	ブルーカーボン事業への協力	市のブルーカーボン事業に協力するとともに、調査内容を市民に公開する場所を提供		随時	●	●	●	●
26	花の演出(海の公園花咲くプロジェクト)	ガーデンネックレス横浜に賛同し、海の公園においても季節ごとの花を植栽		随時	●	●	●	●
27	ガーデンネックレス横浜のPR	海とのふれあいセンターを活用し、会場案内やPRを実施		随時	●	●	●	●
28	海水浴期間中の安全・安心の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフセーバー配備 ・ライフジャケットの無料貸出 ・巡視用ジェットスキー、IRB（救助用ボート）の配備 ・迷子案内所の設置 ・警察官立寄所設置 ・救護所への看護師配置 ・近隣病院への協力要請 ・日本ライフセービング協会から認定を受けた「認定海水浴場」として開設 		随時		●		
29	海への理解を深めるための子供向けの取組	ライフセーバーによる子供向け「海の安全教室」、小学生向け「ライフセービング教室」を実施		1		●		
30	夏の夜間特別巡視	警備員による特別巡視を実施		随時		●		
31	海の危険生物対策	海の危険生物に関する危険性や対処法等の情報提供、注意喚起		随時	●	●	●	●
32	定期的な水質検査	定期的な水質検査によるモニタリングを実施		随時		●		
33	AEDの設置	管理センター、なぎさ広場管理棟、柴口・南口案内所、バーベキュー場受付にAEDを設置		通年	●	●	●	●
34	上級救命講習修了者の配置	副園長は上級救命講習を、他のスタッフは普通救命講習を修了		通年	●	●	●	●
35	津波避難訓練の実施	金沢区及び艇庫利用者等と連携して市民参加型の津波避難訓練を実施		1		●		
36	防災士の配置	園長が防災士を取得し、スタッフに研修を実施		通年	●	●	●	●
37	ホームページ・ブロ	スポーツイベント、潮干狩りや海水浴場		通年	●	●	●	●

	グ・SNS	等の最新情報を提供						
38	当団体独自の広報誌への掲載	年間約6万部を発行する季刊誌「みどり」への掲載		4	●	●	●	●
39	公園リーフレットの配布	施設概要やアクセス等を掲載したリーフレットを配布		随時	●	●	●	●
40	海の公園「海中探検」の実施	金沢区、NPO法人AozoraFactoryとの共催で、水中ドローンのリアルタイム映像で海中の生きもの観察を実施	●	1			●	
41	海の公園ボランティアDAY	花植え、種まき、草取りのボランティア活動の場を提供		8	●	●	●	
42	愛犬マナー教室	犬のマナー向上やトラブル防止策として、基本的なしつけ教室を実施		1			●	
43	イベント傷害保険の加入	自主事業のうち該当する参加者に対する保険加入		随時	●	●	●	●

(事業計画書様式6)

業務の第三者委託一覧

業務	内容	再委託会社	回数	実施月	備考
自家用電気設備保安	自家用電気設備保安 月次点検 1回/月 年次点検 1回/年	R2年度中に入札を実施	12 1	毎月 未定	
受水槽点検清掃	法令等に基づく点検清掃等 点検清掃 1回/年 水質検査 2回/年 定期検査 1回/年	R2年度中に見積合わせ	1 1 1	未定 未定 未定	
公園維持管理	公園維持管理	横浜市グリーン事業協同組合	通年	通年	
公園警備	公園警備	横浜シーサイド協同組合	通年	通年	
大型車輛年次点検	大型車輛年次点検	(株)クボタ	1	2月	
海水浴場施設設置	海水浴場施設設置・撤去	(株)芳垣建設	2	4~9月	
海水浴場総合案内看板設置	海水浴場総合案内看板設置・撤去	R3年度中に見積合わせ	1	7,9月	
海水浴場水質検査	海水浴場水質検査	R3年度中に見積合わせ	5	7~8月	
海水浴場施設リモートマイク取付	海水浴場施設リモートマイク取付・撤去	R2年度中に見積合わせ	1	4~9月	

なぎさ広場衛生設備法 保守点検	なぎさ広場衛生設備法保守 点検	R2 年度中に見積 合わせ	1	6 月	
給水ポンプ設備保守点検	給水ポンプ設備保守点検	(株)荏原製作所	2	7, 2 月	
エレベーター設備保守 点検	エレベーター設備保守点検	(株)日本ビルテク ノス	12	毎月	
電話設備保守点検	電話設備保守点検	R2 年度中に見積 合わせ	6	奇数月	
放送設備保守点検	放送設備保守点検	R2 年度中に見積 合わせ	1	1 月	
空調設備等保守点検	空調設備等保守点検	R2 年度中に見積 合わせ	2	5, 11 月	
シャッター設備保守点 検	シャッター設備保守点検	R2 年度中に見積 合わせ	1	1 月	
消防設備保守点検	法令に基づく定期点検 機器点検 1 回/6 か月 総合点検 1 回/年	R2 年度中に見積 合わせ	2 1	9, 3 月 3 月	
自動ドア保守点検	自動ドア保守点検	R2 年度中に見積 合わせ	3	4, 8, 12 月	
機械警備	機械警備	R2 年度中に見積 合わせ	通年	通年	
なぎさ広場避雷針設備 点検	なぎさ広場避雷針設備点検	R3 年度中に見積 合わせ	1	5 月	
潮干狩り案内看板更新	潮干狩り案内看板更新	R3 年度中に見積 合わせ	1	未定	
海水浴場総合案内看板 更新	海水浴場の案内看板の更新	R3 年度中に見積 合わせ	1	7 月	
海水浴場ポスターデザ イン委託	海水浴場ポスターデザイン	R3 年度中に見積 合わせ	1	6 月	
海開き式設営	海開き式設営・撤去	R3 年度中に見積 合わせ	1	7 月	
自家発電設備点検	自家発電設備点検	R3 年度中に見積 合わせ	1	未定	
園内灯設備及び夜間照 明施設保守点検	園内灯設備及び夜間照明施 設保守点検 巡視点検 1 回/年 部品交換 随時	R2 年度中に見積 合わせ	1 随時	4~6 月 通年	

(事業計画書様式7)

収支予算書(指定管理料のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	232,843,000	0	232,843,000	0	232,843,000	
利用料金収入	50,000	0	50,000	0	50,000	
自主事業収入	1,610,000	0	1,610,000	0	1,610,000	
雑入	0	0	0	0	0	
その他雑入	0	0	0	0	0	
収入合計	234,503,000	0	234,503,000	0	234,503,000	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	17,574,000	0	17,574,000	0	17,574,000	
給与・賃金	14,458,000	0	14,458,000	0	14,458,000	
社会保険料	2,232,000	0	2,232,000	0	2,232,000	
通勤手当	804,000	0	804,000	0	804,000	
健康診断費	80,000	0	80,000	0	80,000	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	4,409,000	0	4,409,000	0	4,409,000	
旅費	106,000	0	106,000	0	106,000	
消耗品費	3,075,000	0	3,075,000	0	3,075,000	
会議賄い費	13,000	0	13,000	0	13,000	
印刷製本費	300,000	0	300,000	0	300,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	0	0	0	0	0	
備品購入費	100,000	0	100,000	0	100,000	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設責任賠償保険	171,000	0	171,000	0	171,000	
職員等研修費	0	0	0	0	0	
振込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	613,000	0	613,000	0	613,000	
手数料	31,000	0	31,000	0	31,000	
地域協力費	0	0	0	0	0	
自主事業費	1,153,000	0	1,153,000	0	1,153,000	
管理費総合計	23,136,000	0	23,136,000	0	23,136,000	人件費、事務費、自主事業費の合算
光熱水費合計	30,605,000	0	30,605,000	0	30,605,000	
光熱水費(電気)	8,569,000	0	8,569,000	0	8,569,000	
光熱水費(ガス)	66,000	0	66,000	0	66,000	
光熱水費(水道)	10,741,000	0	10,741,000	0	10,741,000	
光熱水費(下水道)	11,229,000	0	11,229,000	0	11,229,000	
清掃費	230,000	0	230,000	0	230,000	うち委託料 230000円(予算)
修繕費	9,850,000	0	9,850,000	0	9,850,000	
機械警備費	0	0	0	0	0	うち委託料 0円(予算)
施設保全費	167,448,000	0	167,448,000	0	167,448,000	
空調衛生設備保守	1,288,000	0	1,288,000	0	1,288,000	うち委託料 1288000円(予算)
消防設備保守	500,000	0	500,000	0	500,000	うち委託料 500000円(予算)
電気設備保守	2,800,000	0	2,800,000	0	2,800,000	うち委託料 2800000円(予算)
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	うち委託料 0円(予算)
その他保全費・園地管理	162,860,000	0	162,860,000	0	162,860,000	うち委託料 161849000円(予算)
共益費(合築等の場合)	0	0	0	0	0	
公租公課	2,095,000	0	2,095,000	0	2,095,000	
公租公課(事業所税)	0	0	0	0	0	
公租公課(消費税)	2,023,000	0	2,023,000	0	2,023,000	
公租公課(印紙税)	21,000	0	21,000	0	21,000	
その他公租公課	51,000	0	51,000	0	51,000	
事務経費	100,000	0	100,000	0	100,000	
事務経費(本部分)	100,000	0	100,000	0	100,000	
事務経費(当該施設分)	0	0	0	0	0	
その他経費(当該施設分)	1,038,000	0	1,038,000	0	1,038,000	
支出合計	234,502,000	0	234,502,000	0	234,502,000	
差額	1,000	0	1,000	0	1,000	

(参考) 指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	127,923,000	0	127,923,000	0	127,923,000	
設置管理許可支出合計	125,757,000	0	125,757,000	0	125,757,000	自販機許可使用料は5年分を一括計上
差額	2,166,000	0	2,166,000	0	2,166,000	